

大坂松江町野田屋文書概要

- 1: 文書群番号 090001
- 2: 文書群名 大坂松江町野田屋文書
- 3: 出所 尾崎家（野田屋）
- 4: 家業・役職等 砂糖商
- 5: 地名 大坂松江町／大阪市東区南新町1～2丁目・徳井町1～2丁目／大阪市東区北新町2丁目・南新町2丁目・徳井町2丁目
- 6: 行政区分 大坂藩松平氏領／幕府領／大阪府／大阪市
- 7: 歴史
野田屋（尾崎氏）の先祖は大和国添下郡東城村郷士。元文3年(1738)家祖道久（通称久兵衛）が天満棕橋町榭屋八兵衛四男として出生、野田屋某に奉公して別家、松江町に砂糖店を開いたとされる。文化11年(1814)道久没。道久の室明仙尼（宝暦元～文政12・1751～1829）は摂津国武庫郡西昆陽村田近氏の出身。幕末尾崎氏は「尾崎内記」として公家六條氏等の用をつとめている。
松江町は近世には大坂三郷南組に所属、西は松屋町筋に接しており、同筋を越えた向いには西町奉行所があった。同町は山城国伏見の町人が移住し開発した土地で、初め伏見納屋町と呼ばれた。元禄13年(1700)大坂三郷水寄せ帳によると家数33、役数33。天保8年(1837)同町付近は大塩の市中焼き討ちによって類焼。
- 8: 伝来
出所の所蔵を離れていた本文書群を、平成2年(1990)1月古書籍即売会にて史料館が古書籍商より購入。15年9月に整理・目録作成を完了した。
- 9: 史料入手先 古書籍商
- 10: 点数 49点(目録件数40件)
- 11: 年代 寛政10年(1798)～明治20年(1887)
- 12: 構造と内容
本文書群は大坂松江町砂糖商野田屋（尾崎氏）の文書で、家屋敷購入証書類や尾崎氏家祖の来歴・肖像画（目録番号17）をはじめとする家関係、幕末の情勢（大塩の乱・ロシア船来航・天皇行幸）について記したものと法令（江戸・町奉行所の申し渡し）の写しなどがある。
- 13: 関連史料 -
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 松迫寿代